

安全・国産志向が顕著に回復 「割高でも国産を選ぶ」消費者増加 — 日本公庫・平成25年度上半期消費者動向調査 —

株式会社日本政策金融公庫（略称：日本公庫）農林水産事業が7月に実施した平成25年度上半期消費者動向調査で、消費者の食の安全や国産志向が回復傾向にあることがわかりました。しかも値段が割高でも国産を選ぶ消費者が増えたことが特徴的です。詳細は以下のとおりです。

<調査結果のポイント>

○「安全」「国産」「美食」志向が上昇、食費節約の「経済性」志向は減少(図1)

消費者の「健康志向」は44.3%と最も高い回答割合となり、過去最高の回答割合となった前回（25年1月）調査（46.3%）並みの高い水準が続いている。

前回調査から上昇したものは、東日本大震災直後の23年7月調査から3半期連続で低下傾向にあった「安全志向」が前回調査（17.1%）から5.9ポイント反転上昇し23.0%となったほか、「国産志向」も前回調査（13.6%）から4.1ポイント上昇し17.7%となった。また、味のおいしさを追求する「美食志向」も前回調査（9.2%）から4.3ポイント上昇し13.5%となっている。

一方で、低下したものは、24年7月調査から2半期連続で高い水準を維持していた食費を節約する「経済性志向」で、前回調査（39.3%）から5.9ポイント低下し33.4%となった。このほか「手作り志向」が前回調査（27.5%）から7.6ポイント低下し19.9%となっている。

○中年層は手作りにこだわらず、おいしいものを求める傾向(図2・図3)

年代別にみると、「健康志向」と「国産志向」は年代が上がるにつれて志向する割合が高くなっている。これと対照的なのが「経済性志向」、「簡便化志向」と「美食志向」で、若い層ほど志向する割合が高い結果となった。

また、年代別の推移を見ると、食費を節約する「経済性志向」は前回調査と比べすべての年代で低下したが、特に20代の若い層がマイナス12.5ポイントと大きく低下した。「手作り志向」もすべての年代で低下したが、こちらは30代、40代、50代がそれぞれ8.5ポイント、9.4ポイント、13.0ポイントと低下幅が大きくなっている。

一方、「国産志向」では70代が前回調査と比べ12.7ポイントの上昇、「美食志向」では30代、40代がそれぞれ6.7ポイント、7.6%の上昇となったのが目立つ。

○ 「国産＝安全」意識は2半期連続で原発事故前水準を上回る(図4・図5)

食料品を購入するときや外食するとき国産品かどうか「気にかける」割合は、過去最低となった24年7月調査から2半期連続の上昇となり「国産志向」が回復傾向にあることが鮮明となった。

国産原料の食品に対するイメージについては、「安全である」と回答した割合が68.5%と前回調査に比べ0.2ポイント上昇し、2半期連続で原発事故前の22年12月調査(67.7%)の水準を上回る結果となった。

一方で、輸入食品に対するイメージは、「安全面に問題がある」と回答した割合が46.6%と前回調査に比べ4.2ポイント上昇し、3半期連続の上昇となった。

○ 「3割高超の価格でも国産選ぶ」消費者が過去最高(図6・図7・図8)

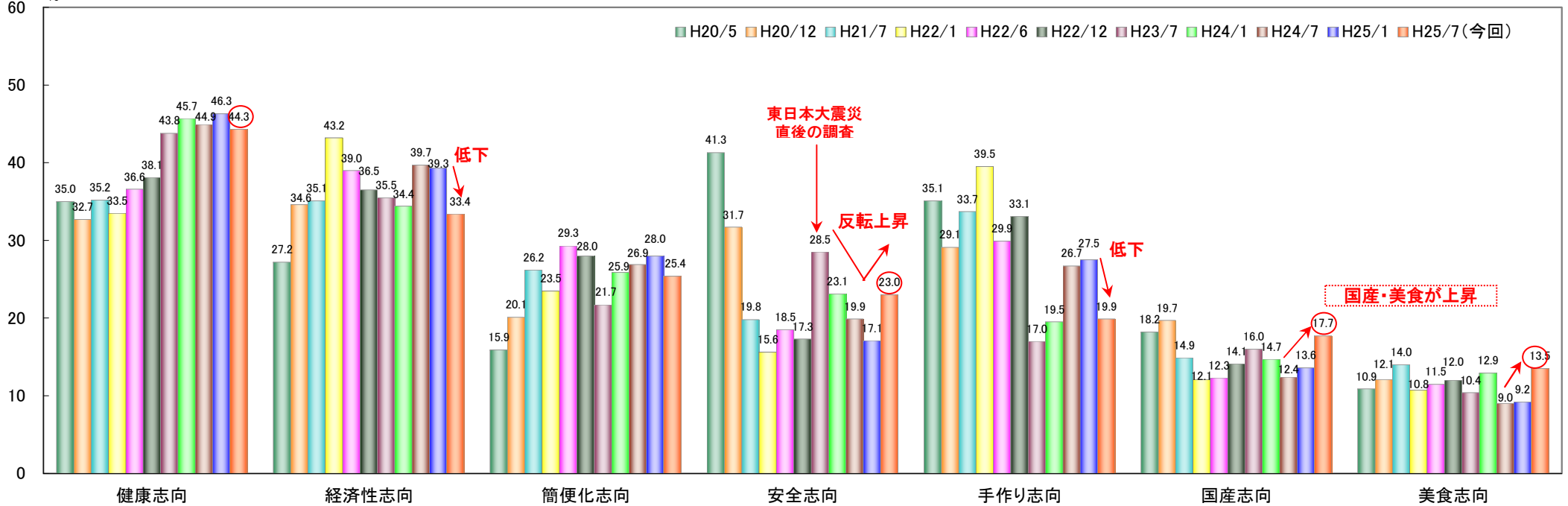
国産食品の輸入食品に対する価格許容度を聞いたところ、「割高でも国産品を選ぶ」と回答した割合は61.3%と、前回調査から6.9ポイント上昇した。これは、調査を開始した20年5月調査の64.6%に次ぐ過去2番目に高い回答で、なかでも「3割高を超える価格でも国産品を選ぶ」と回答した割合は、調査開始以来最高の20.9%となった。

「割高でも国産を選ぶ」と回答した割合は、全ての品目について上昇し、特に「米」と「野菜」で高く、それぞれ77.5%、68.8%となった。

また、現在の価格と比べて妥当と思う価格水準については、生鮮食品及び加工食品全ての調査品目について、「値上げが妥当」の回答割合が上昇し、「値下げが妥当」の回答割合も減少した。

調査時期	平成25年7月1日～7月10日
調査方法	インターネットによるアンケート調査
調査対象	全国の20歳代～70歳代の男女2,000人(男女各1,000人)

図1 現在の食の志向（上位）の推移/2つ回答



(参考：今後の食の志向（上位）の推移/2つ回答)

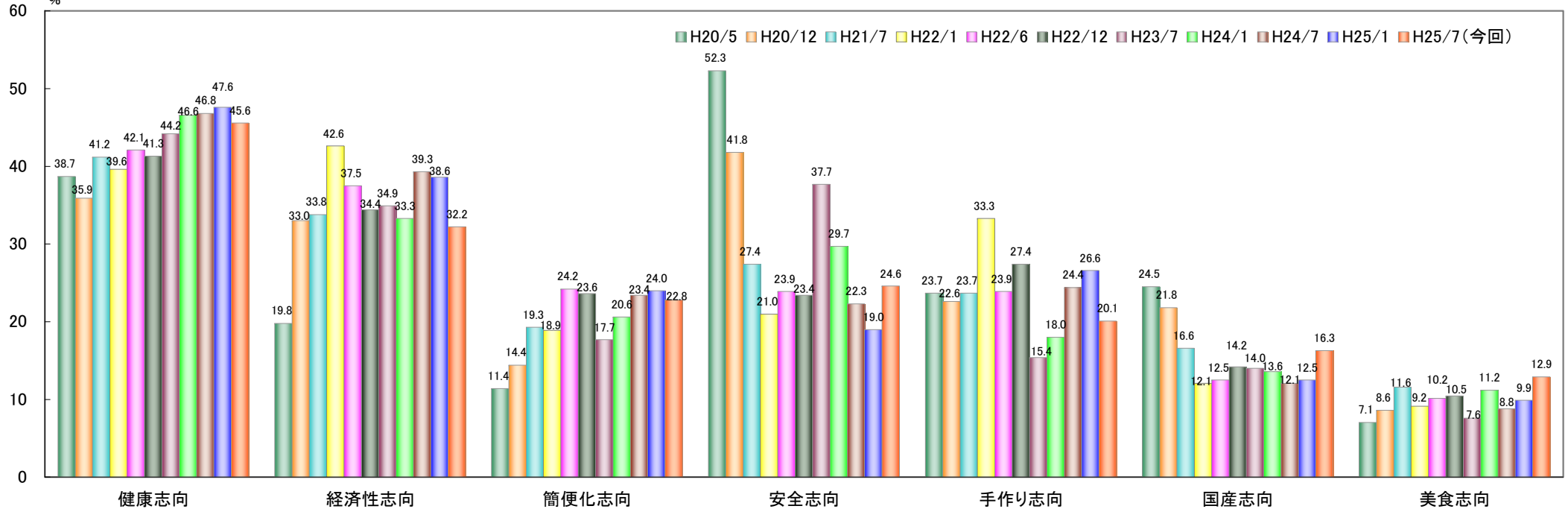


図2 年代別 現在の食の志向 (H25年7月調査)

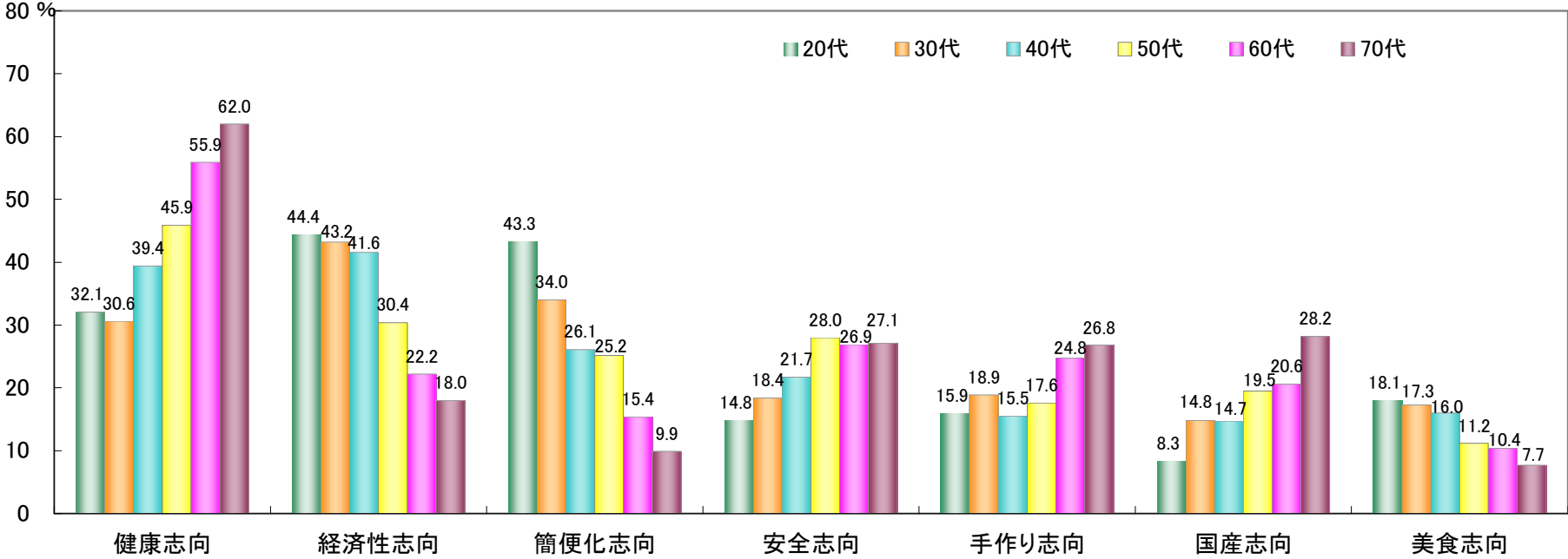
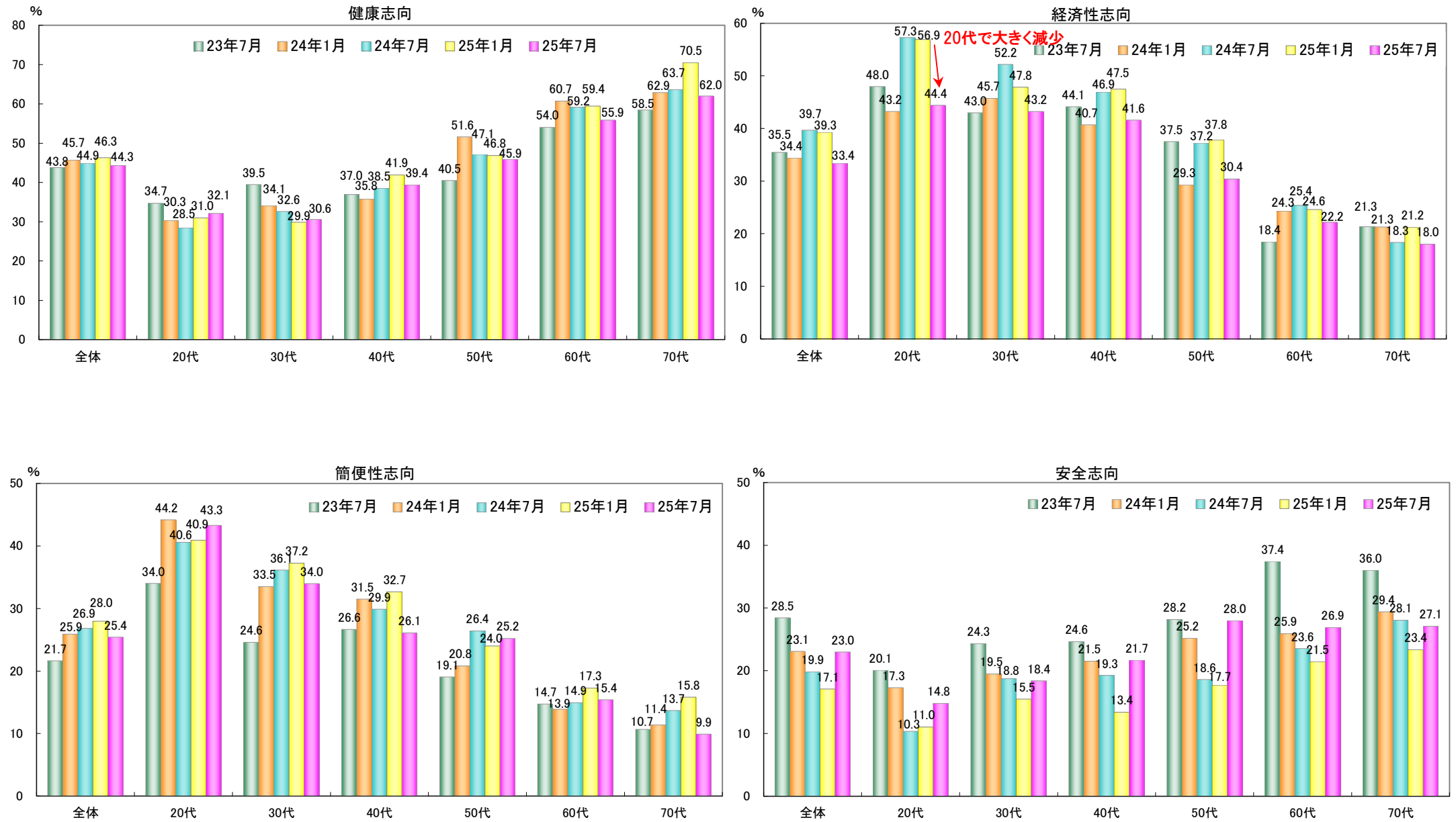
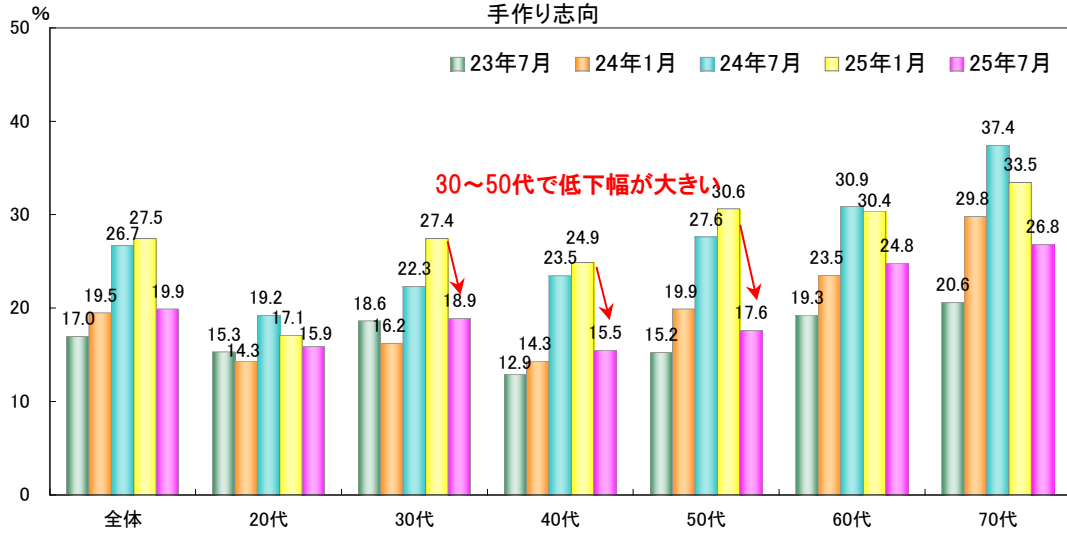


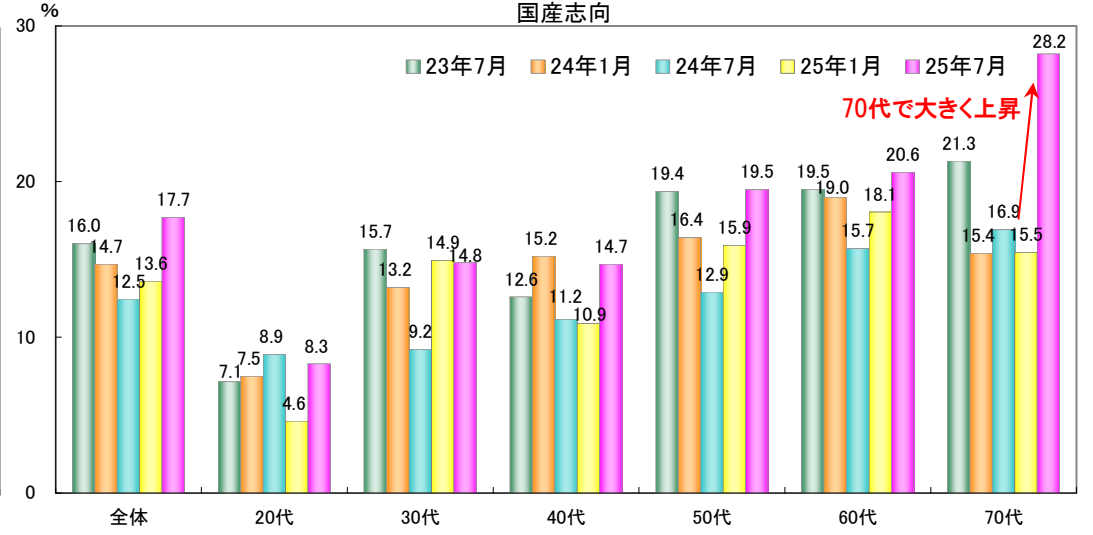
図3 年代別 現在の食の志向の推移



手作り志向



国産志向



美食志向

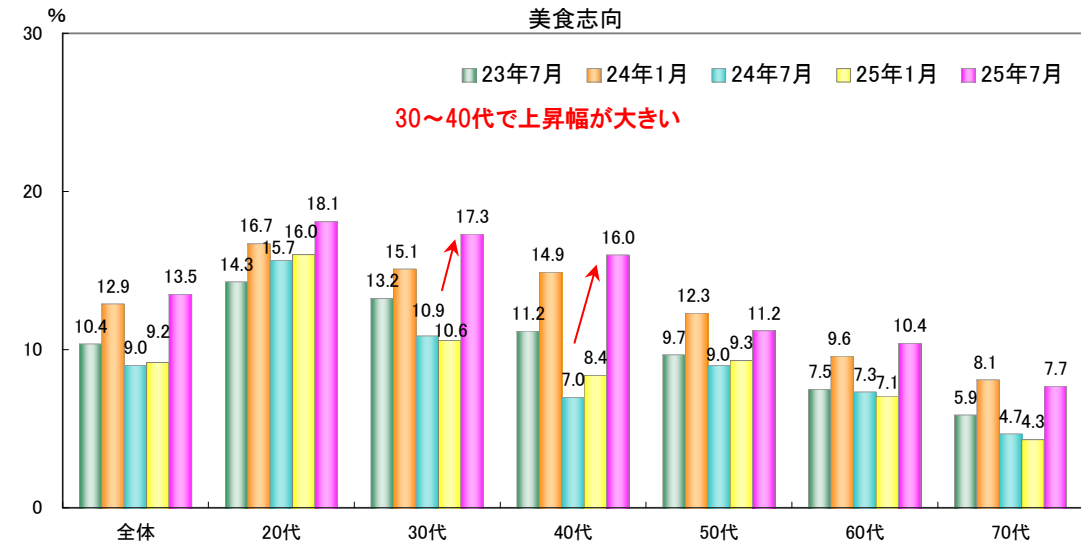
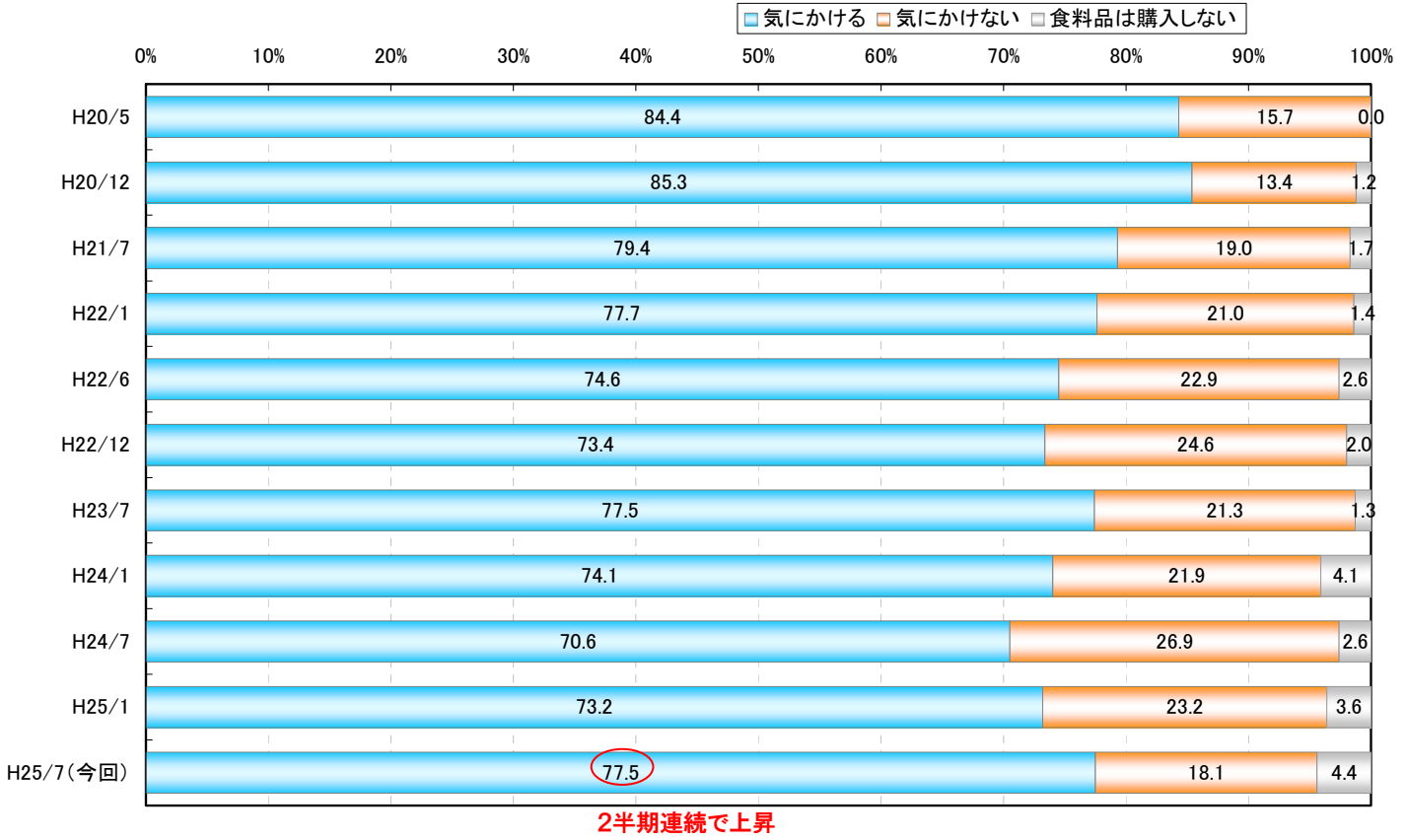


図4 食料品を購入するとき/外食するときに国産品かどうかを気にかけるか

(1) 食料品を購入するとき



(2) 外食するとき

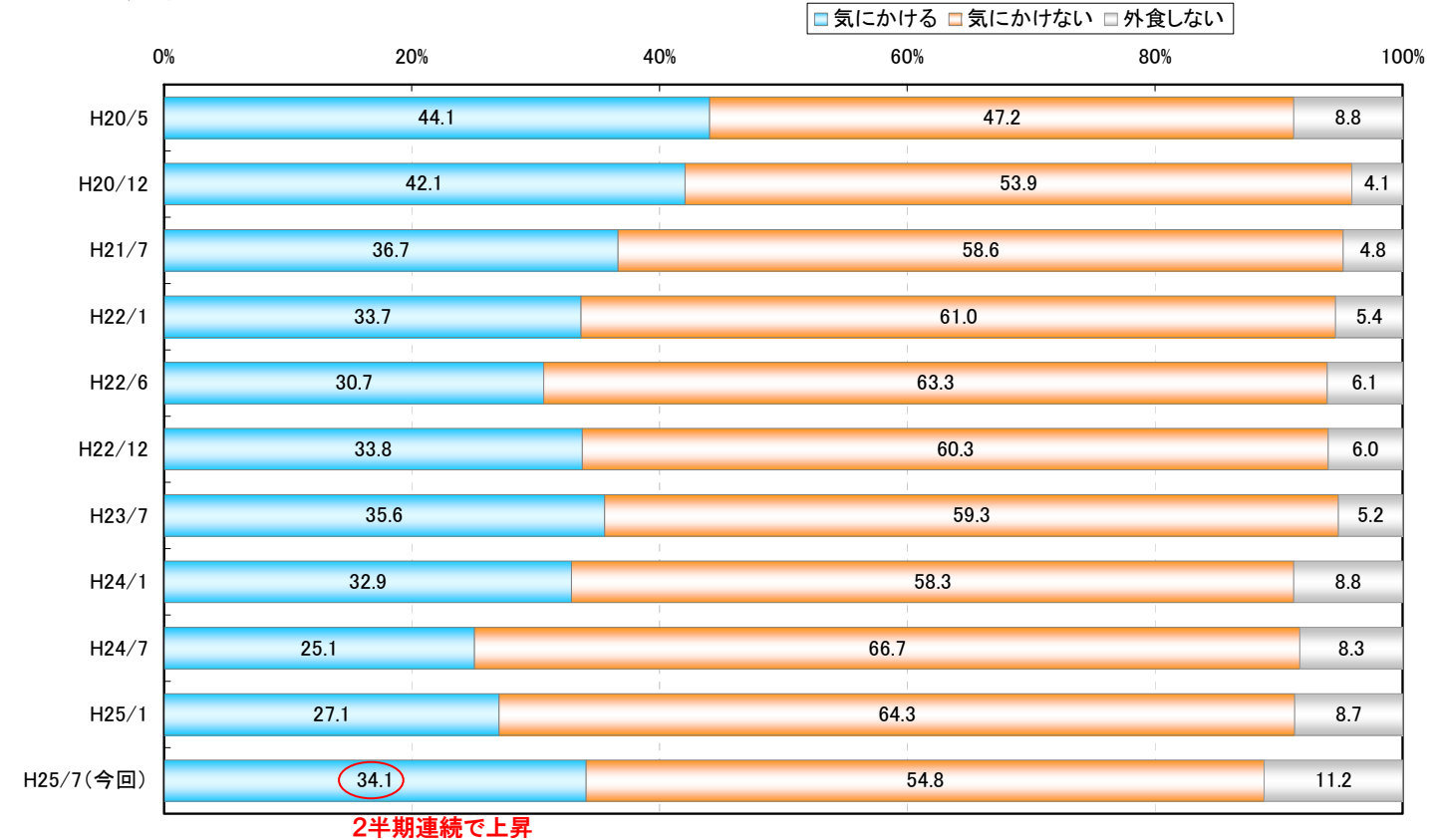
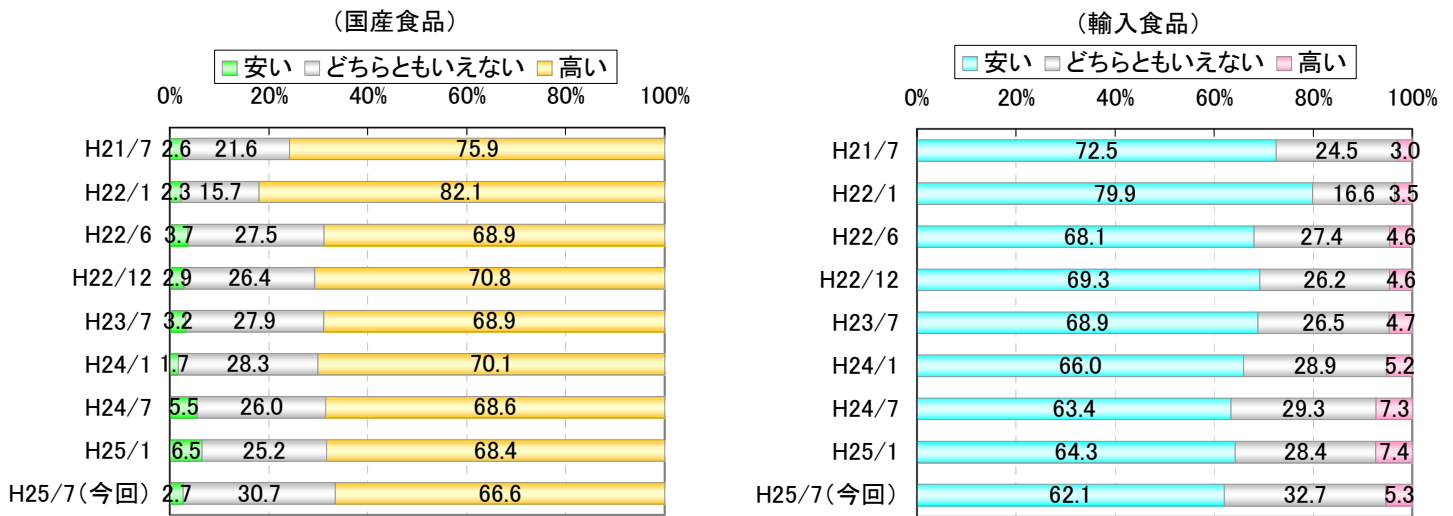
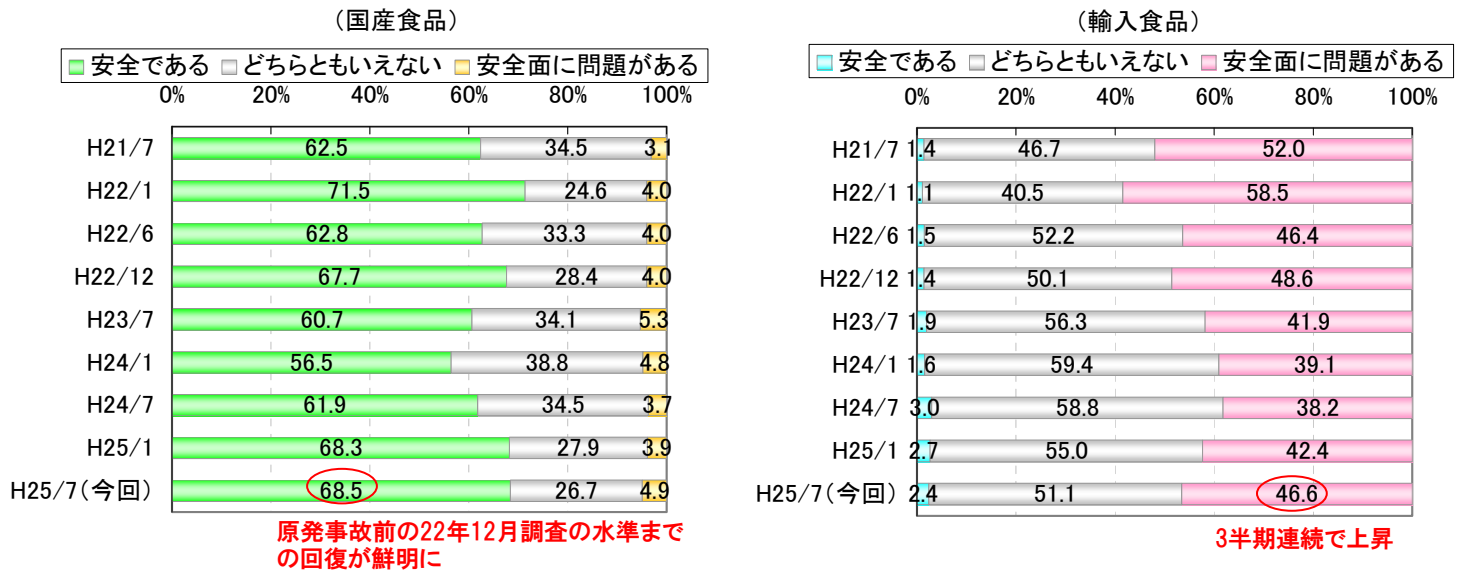


図5 国産原料の食品/輸入食品に対するイメージ

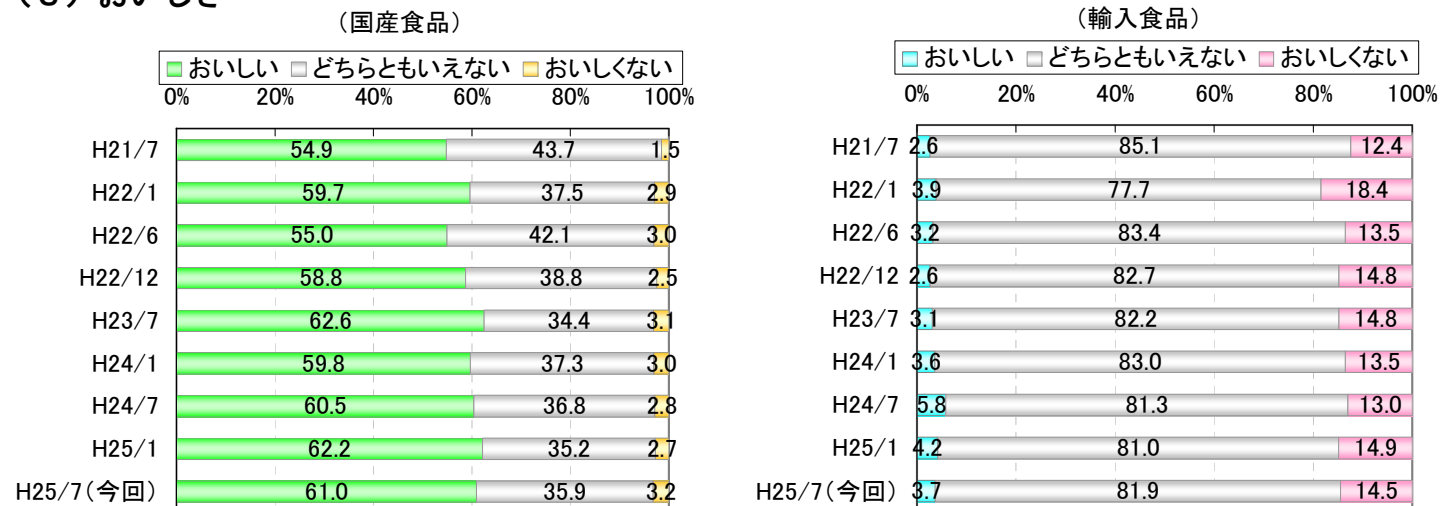
(1) 価格



(2) 安全面



(3) おいしさ



(4) 見たい目

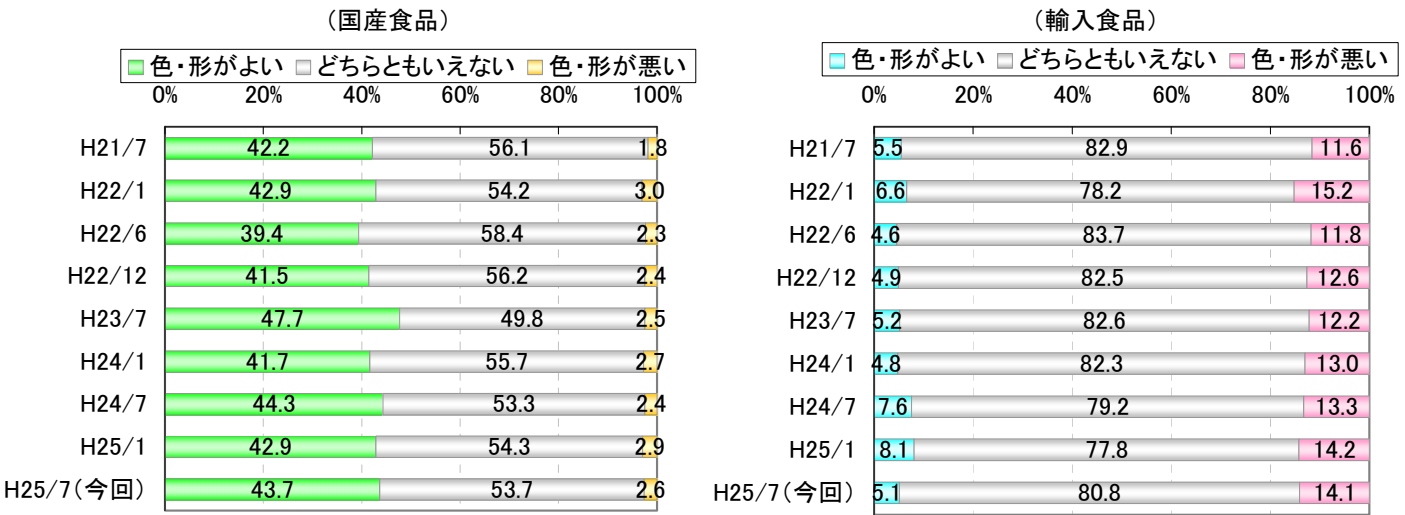


図6 国産食品の輸入食品に対する価格許容度

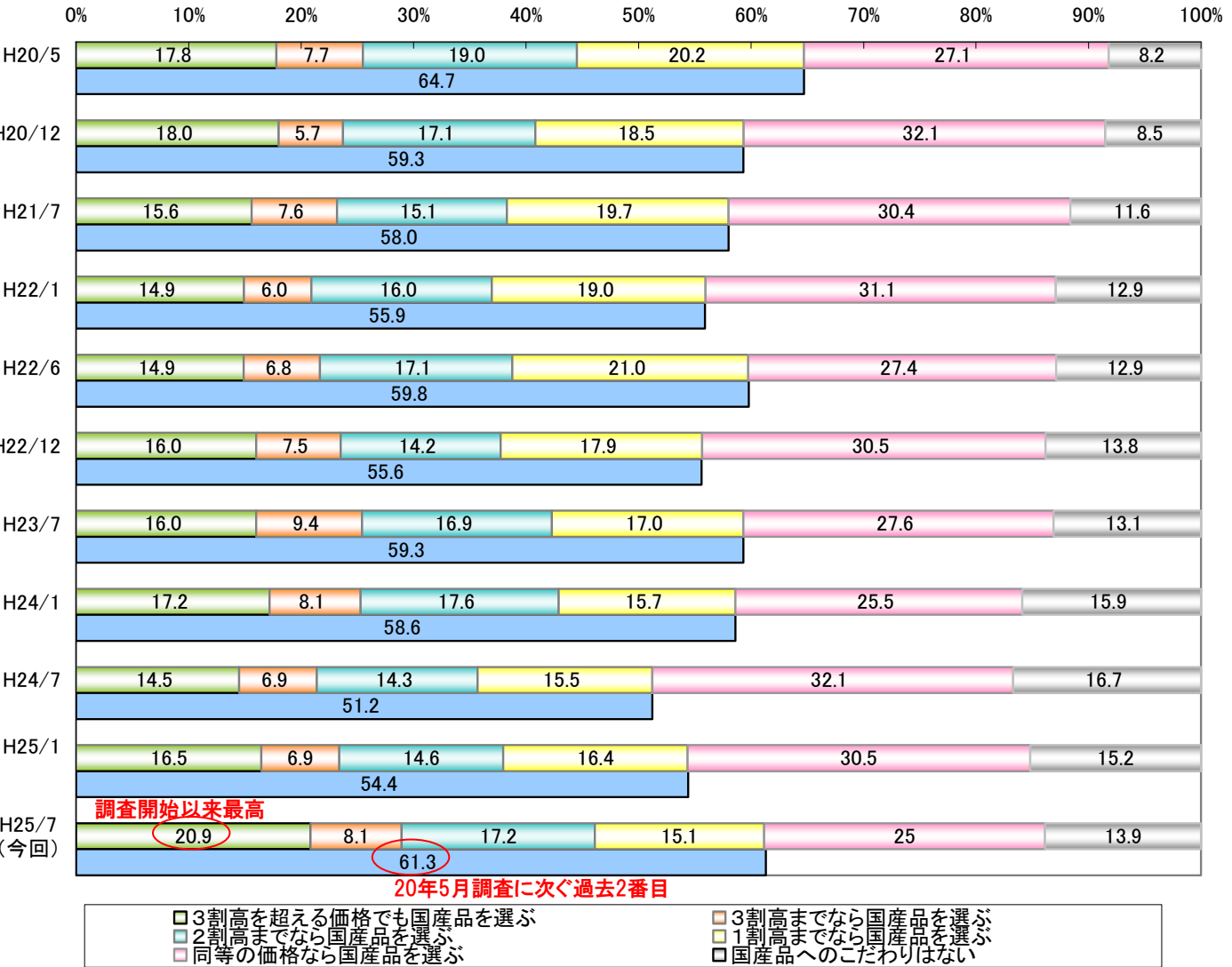
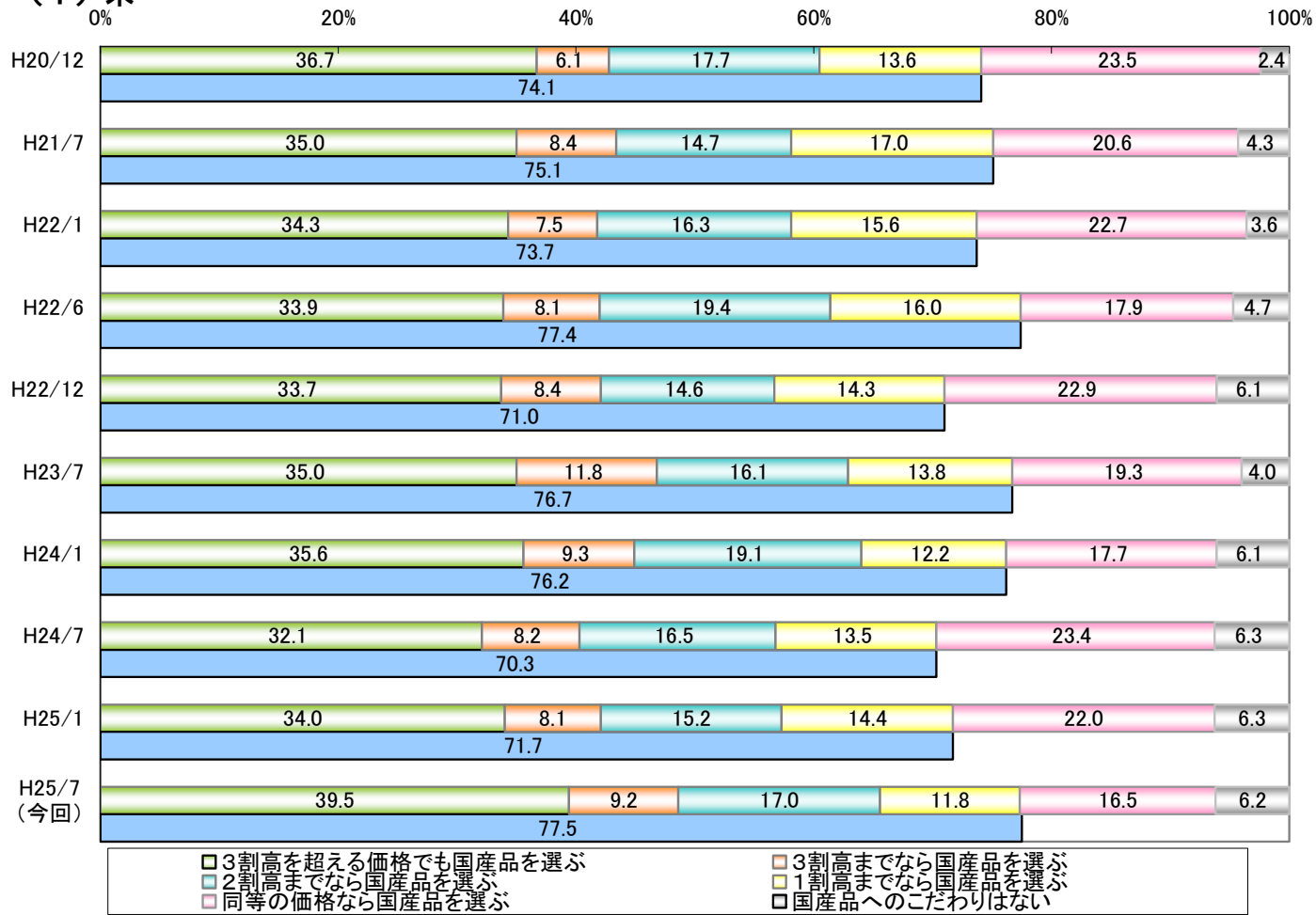
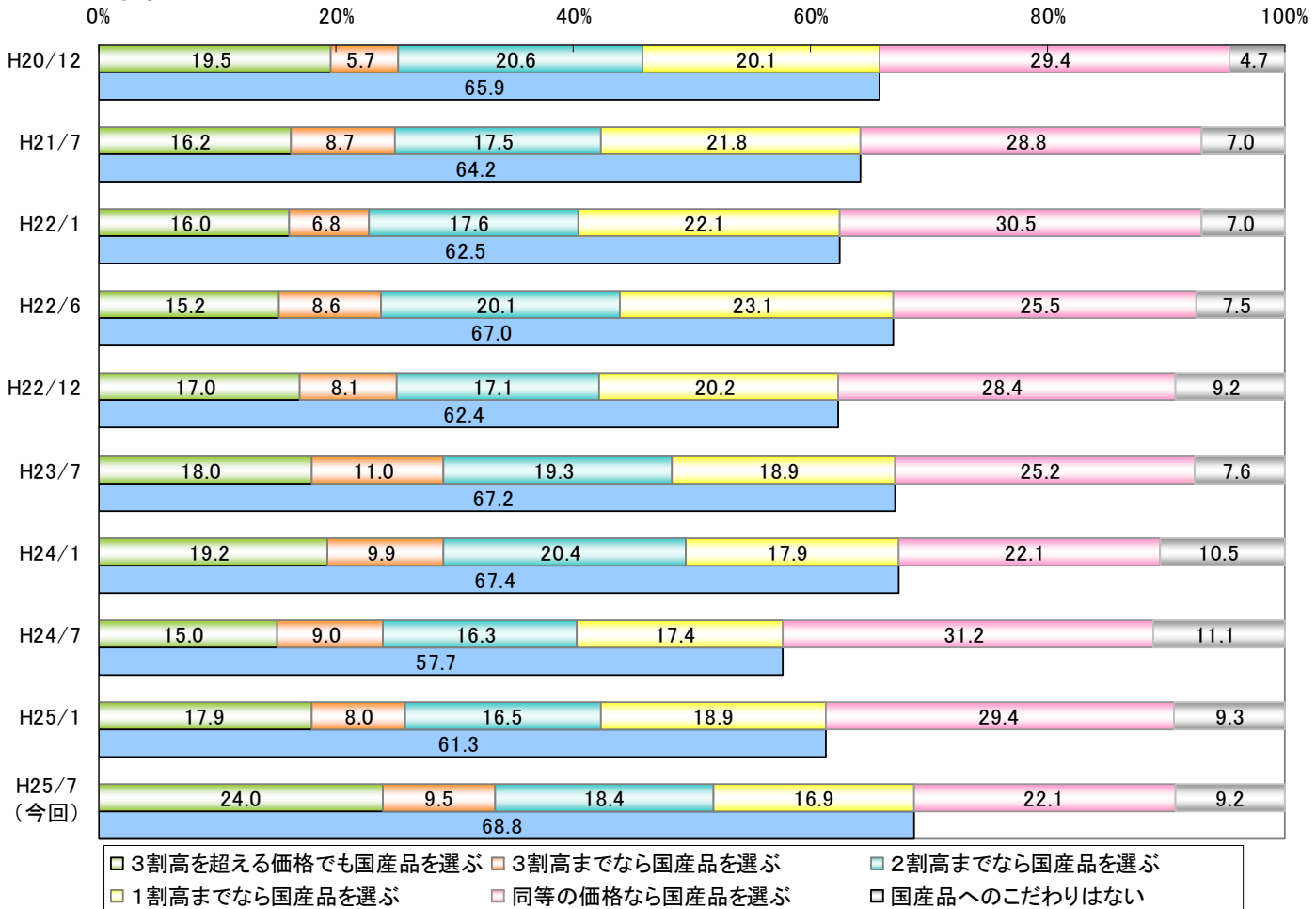


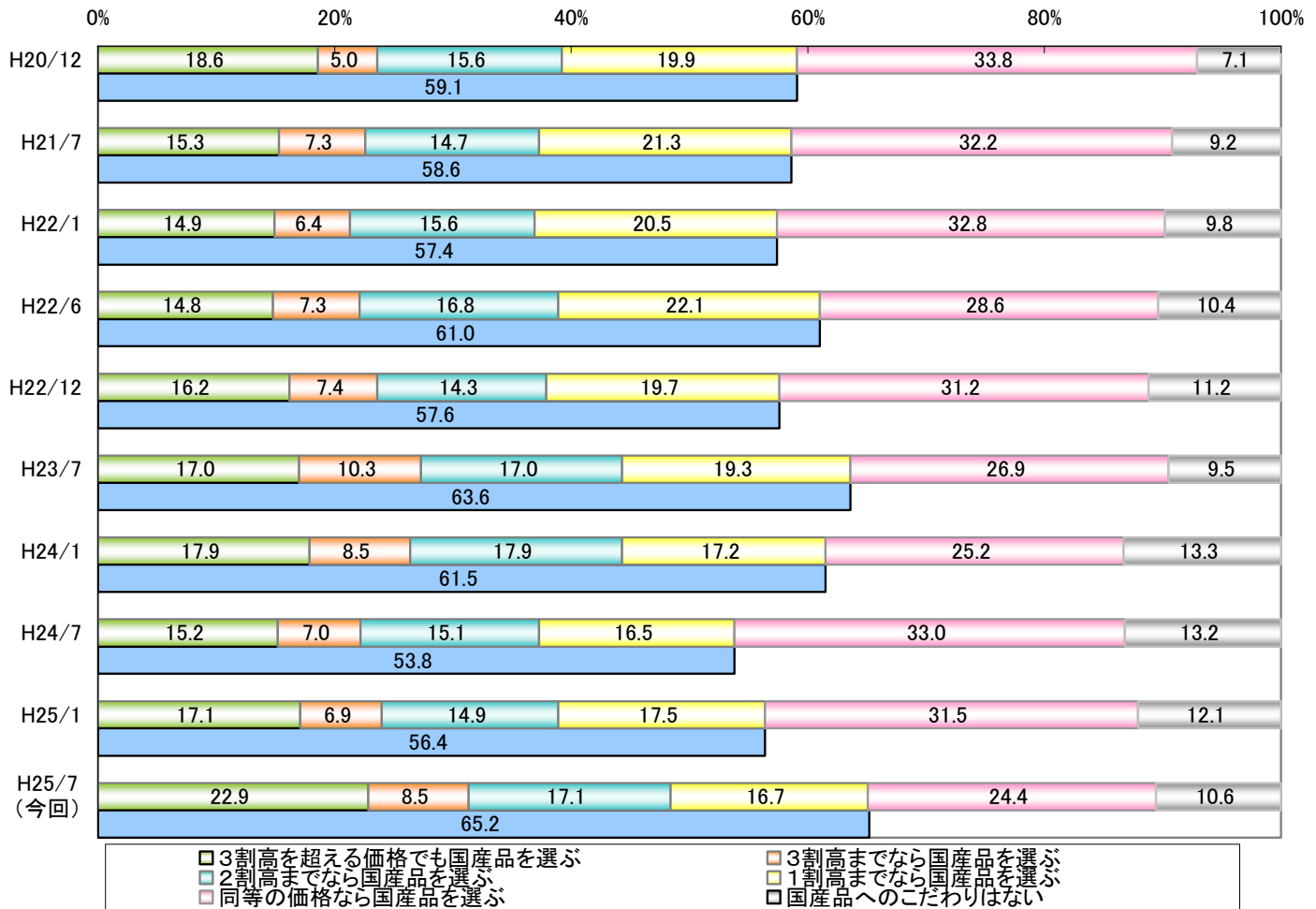
図7 国産食品の輸入食品に対する価格許容度
(1) 米



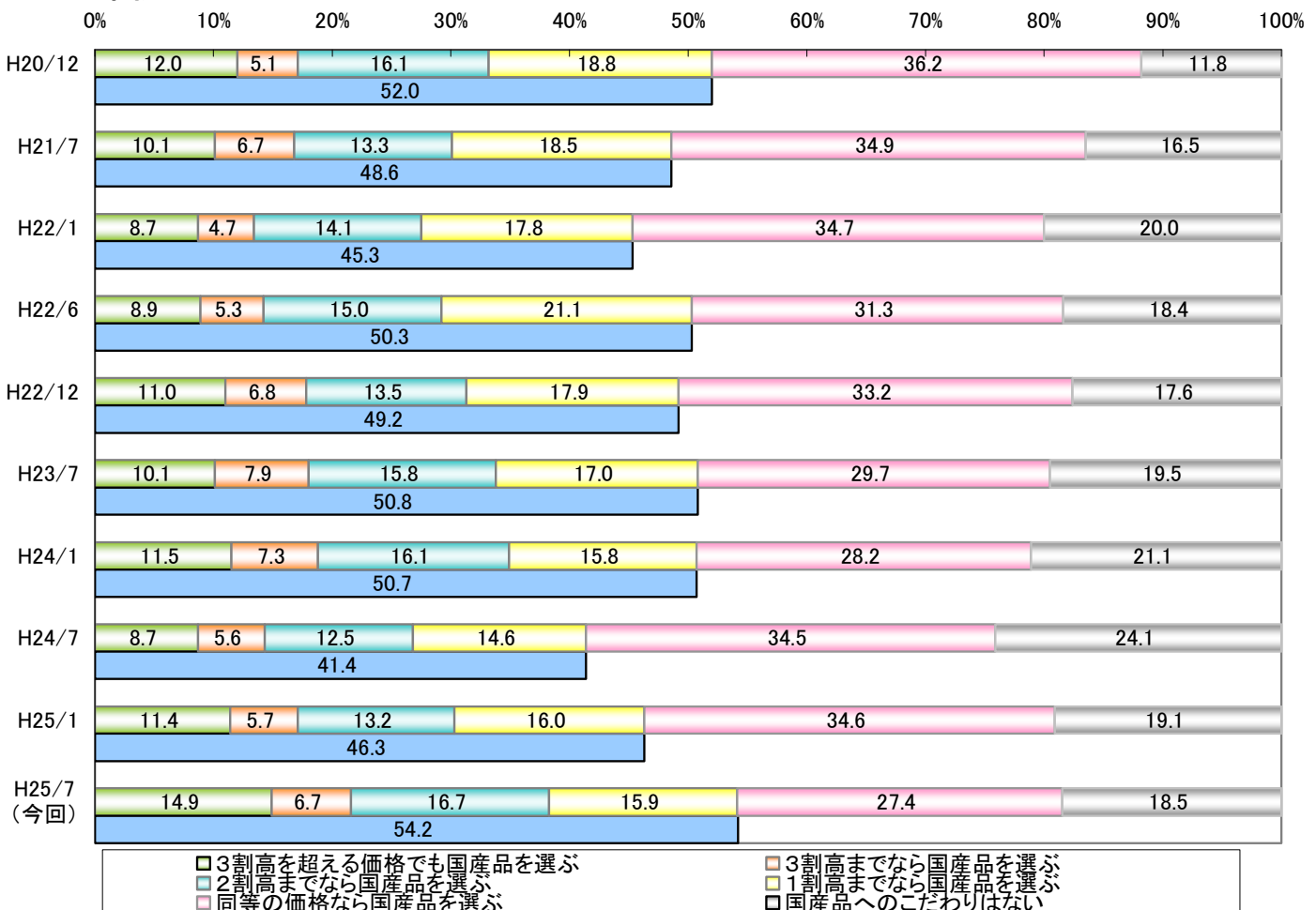
(2) 野菜



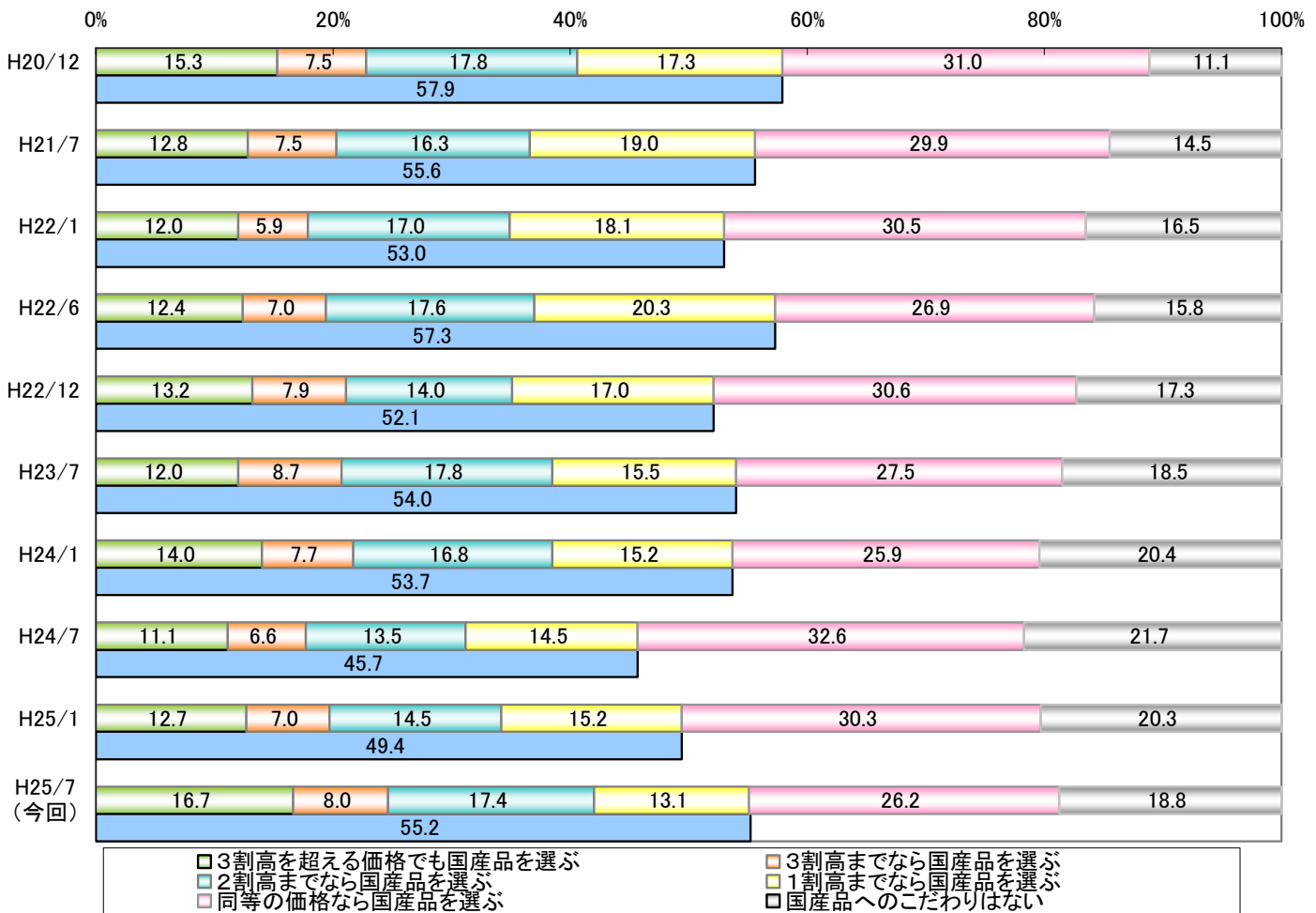
(3) きのこと



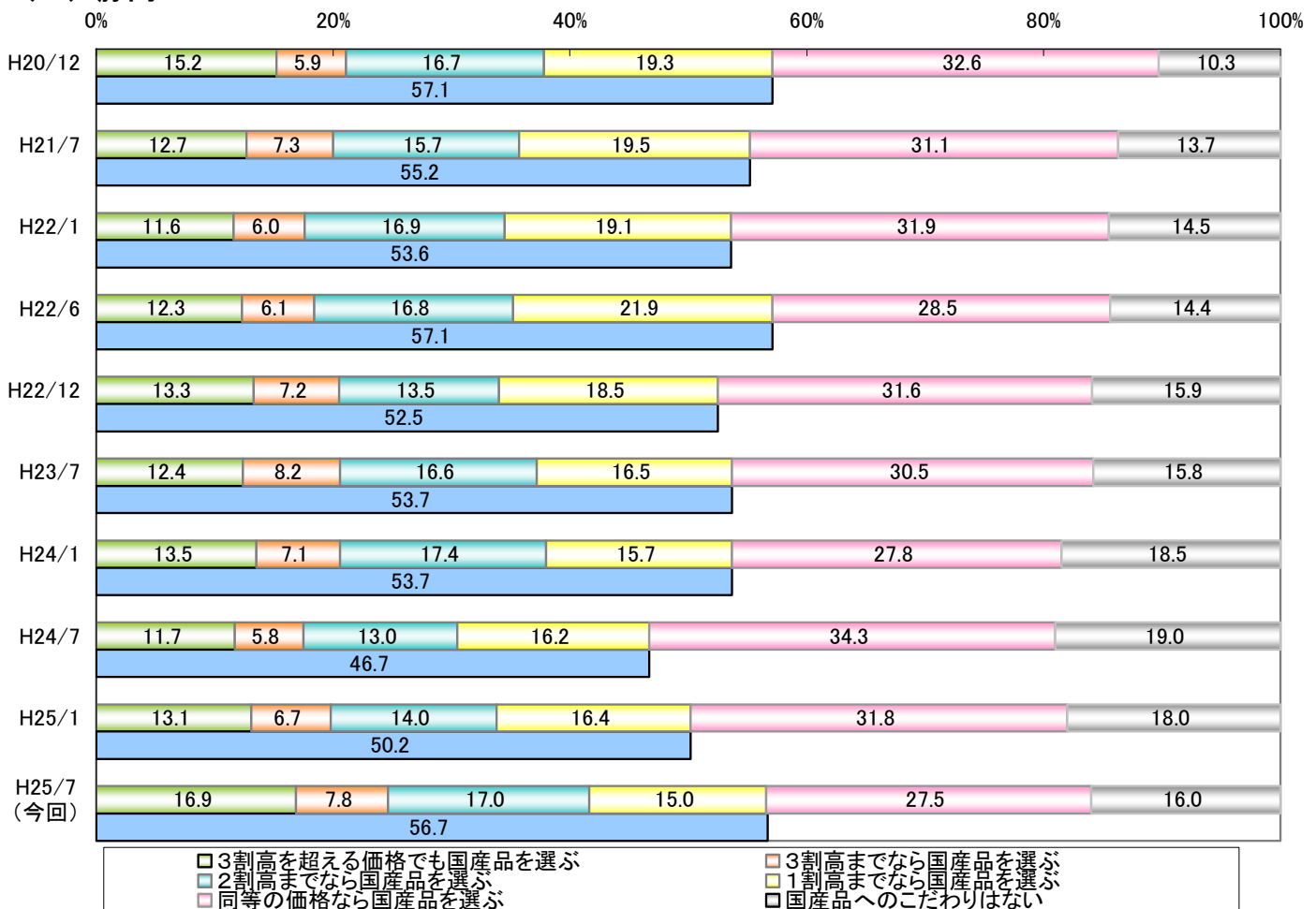
(4) 果物



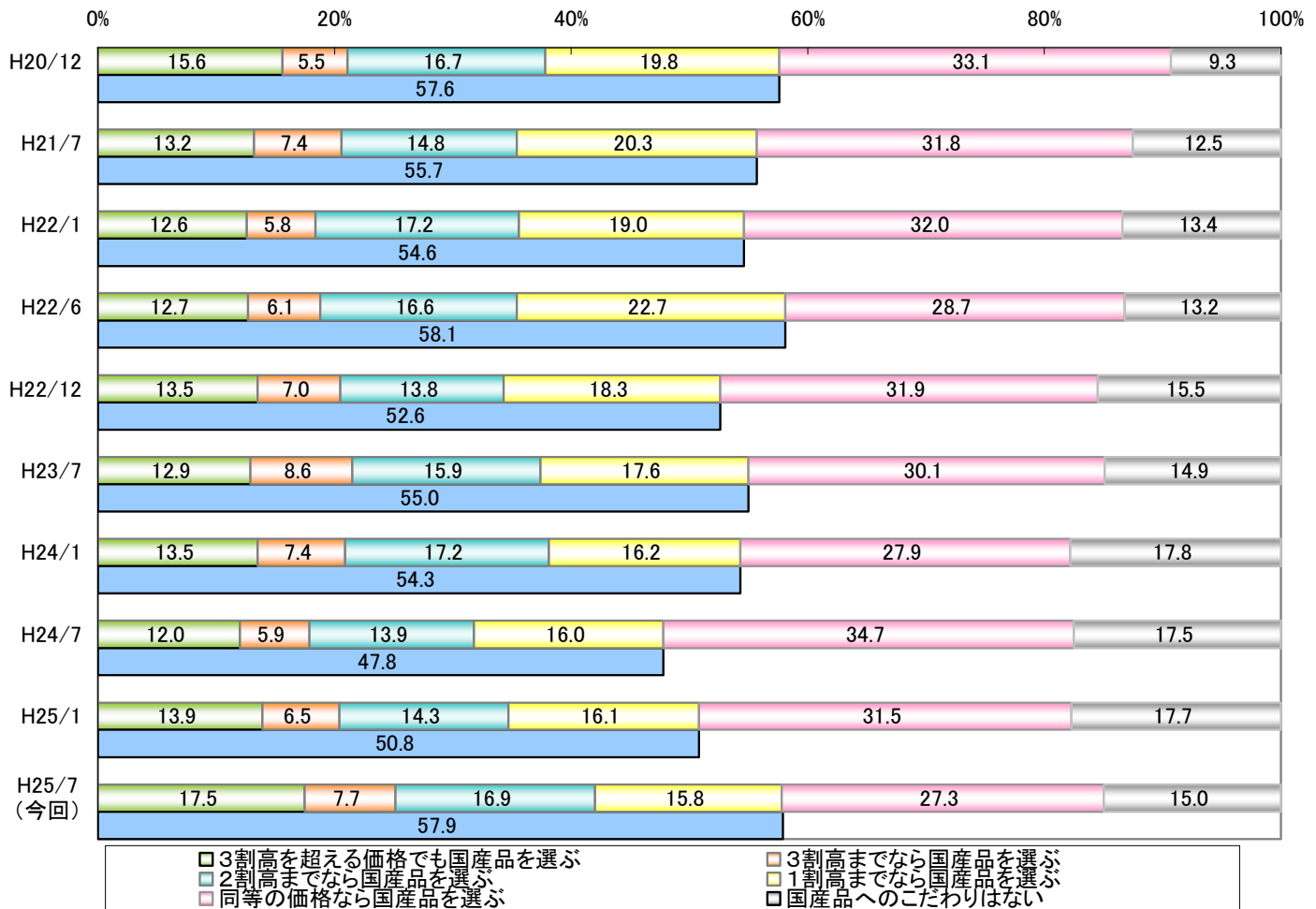
(5) 牛肉



(6) 豚肉



(7) 鶏肉



(8) 魚介類

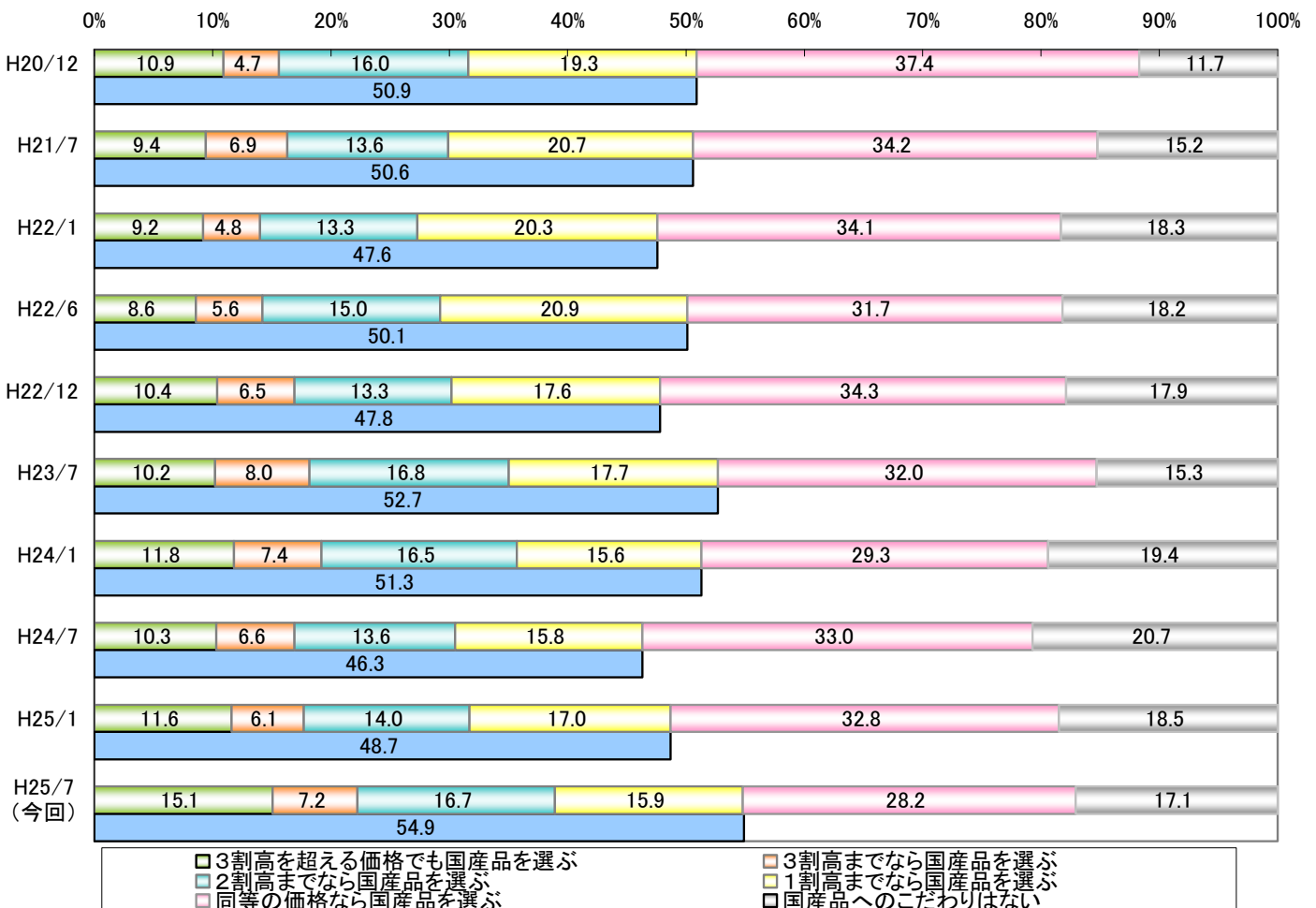
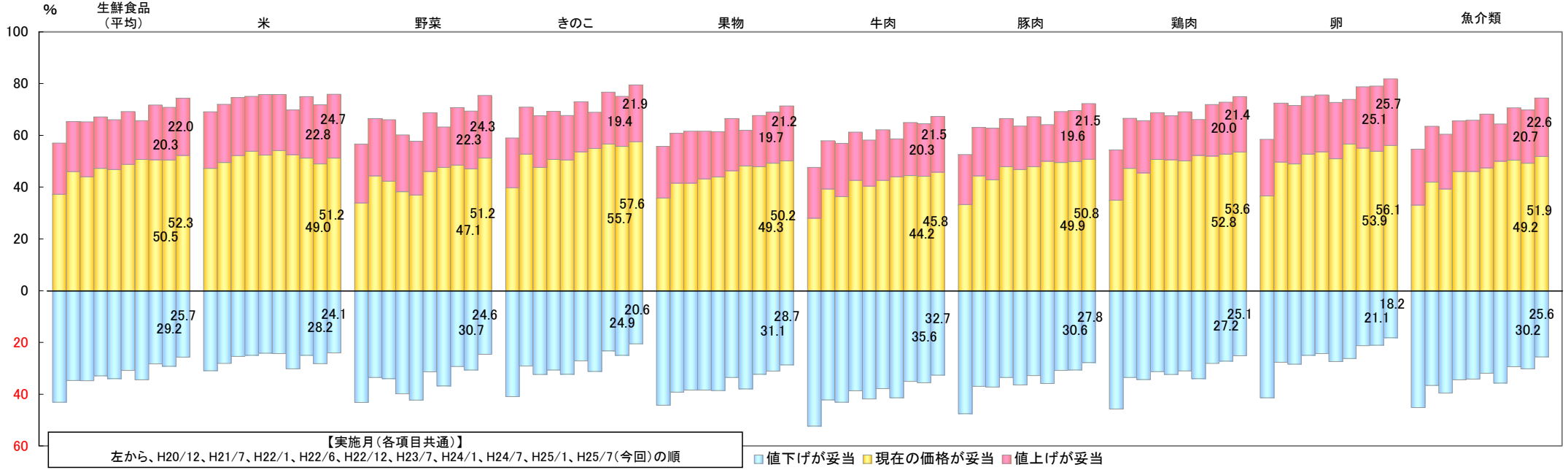


図8 現在の価格と比べて妥当と思う価格水準

(1) 生鮮食品



(2) 加工食品

